

要求実現の力をもつ
労働組合をめざし
全国で組織建設と
拡大をすすめよう!



発行所
JMITU
(日本金属製造情報通信労働組合)
〒114-0023 東京都北区滝野川
3-3-1 ユニオンコーポ3階
電話 (03) 5961-5601~2
FAX (03) 5961-5603
※組織外、無断転載禁止

すべてのたたかいを組織拡大強化へ

JMITU
第4回定期大会

執行委員長に**三木さん** 生熊さん退任、顧問に



三木委員長など、新役員を選出。組織の拡大強化へ決意を固めました (7月9日・伊東市)

JMITUは7月8～9日、静岡・伊東市内で第4回定期大会を開きました。大会では、継続雇用者やパート労働者など非正規雇用労働者の賃上げをはじめとする17春闘での要求の前進、「2つの近い(職場が近い、年齢が近い)」を基本とした組合員の拡大、『学習の友』による「ミニ学習」の広がりなど要求と、組織拡大強化で始まった前進を「大きな流れに」し「すべてのたたかいを組織拡大強化」につなげようとの新年度運動方針を採択しました。

討論では、「17春闘では、『説得力ある要求』づくりへ、今年も家計簿調査に力を入れ、『一言メッセージ』は事前申し入れのときから開始した。会社には『親会社の意向ではなく、ティエラが独自に判断し回答を』と迫り、業績が厳しいもと初回で6000円を引き出すことができた」(大阪・日立建機

ティエラ)、「新入社員の配属職場で組合員が『仲間になろうよ』と気軽に加入をよびかけ、加入してもらっている。敷居は低い」(東京東部)、「昼休みに月1回、30分程度の学習だが、賃金とは、役員の役割とは、職場集会のもち方など学習を続けている。団交でも発言が増えた」(兵庫・福原精機)など、春闘、組織拡大・組織強化の経験が報告されました。

大会では小田川義和全労連議長、山下芳生日本共産党副委員長(参議院議員)などが来賓あいさつ。運動方針、大会宣言など採択し、新年度役員体制を選びました。

生熊茂実委員長が今期をもって退任し顧問に就任。新委員長に三木陵一副委員長が選ばれ、笠瀬隆司書記長、宇佐美俊一、川口英晴、山本善五郎の各副委員長がそれぞれ再任されました。

核兵器廃絶への転機 長崎へ代表団30人

日本政府は禁止条約に参加せよ！「ヒバクシャ国際署名」ひろげる



東日本関係の代表を中心に原水爆禁止世界大会代表
 団結団式・壮行会ひらかれる (7月25日・中央本部)

核兵器禁止条約の締結に向け開かれた国連会議は7月7日、核兵器禁止条約を賛成122、反対1、保留1の圧倒的多数の賛成で採択しました。条約は核兵器の開発、実験、製造、保有、移転に加え、その使用と威嚇も禁止するなど、日本の被爆者と原水爆禁止運動が長年にわたって訴えつづけてきた、全面禁止の内容となっています。日本政府は米国などとともに会議をボイコットしましたが、内外から批判の声があがっています。

JMITUは今年の原水爆禁止世界大会(8月7～9日・長崎)に30人の代表を派遣します。いま、禁止条約への参加を全世界に求める「ヒバクシャ国際署名」にとりこんでいます。

JMITU大4回定期大会 大会宣言

JMITUは7月8日～9日、第4回定期大会を開催し、17春闘をはじめとする一年間のたたかいを総括するとともに、2018年度運動方針を確立しました。

討論では春闘学校を開催し「賃金の生計費原則」を学んだことで、今の生活を見つめなおすだけでなく、将来の生活を考える要求討議がすすんだ経験や、要求に確信を持ったたたかえた経験など、17春闘での多くの取り組みの前進が明らかとなりました。

組織拡大では会社への不満・不安をなんとかしたいと真剣に考え、企業内からJMITUへ加入した経験や新しく支部を結成した経験が、組織的前進の確信となりました。職場では、未加入の労働者に同じ職場の組合員が声をかけ組合加入したことや、職場の機関紙を読んでJMITUの魅力を感じ加入したなど「変化から前進」の経験が語られました。

先に行われた東京都議会議員選挙では、最大会派であった自民党が57議席から23議席へと歴史的な敗北をし、一方、要求前進のために協力共同している日本共産党が17議席から19議席へと前進しました。この結果は安倍政権による「森友学園」「加計学園」疑惑にみられる国政の私物化、「共謀罪」をいきなり本会議で強行成立させた国会の私物化、憲法尊重擁護義務がある安倍首相みずからが憲法9条改悪を言い出すなど、安倍政権の傲慢なふるまいに、東京都民の怒りが爆発したものです。こうした悪政を跳ね返すためにも17秋闘では、職場での対経営者要求のたたかいとあわせて、憲法改悪阻止と労働法制改悪阻止のたたかいに職場から総決起します。

いま、私たちは平和な日本を守るのかそれとも戦争する日本にしてしまうのかの歴史的岐路に立たされています。来年、通常国会での改憲発議をさせない、仮に国民投票になった場合には否決させるために、安倍政権のもとでの9条改悪に反対という国民的一致点をつくるための奮闘が必要です。安倍政権の早期退陣を求め、遅くとも2018年中には行われる総選挙に向け、市民と立憲4野党との共闘を強め、総選挙では改憲勢力とその補完勢力を2/3未満に追い込み、共謀罪廃止と戦争法廃止、憲法改悪阻止、くらしと雇用、平和をまもる政治への転換をめざします。

2018年度は始まった変化を大きな流れにして、産業別統一闘争を推進し、すべてのたたかいを組織拡大強化につなげ、JMITUの明るい未来を切り開くために全力を尽くすことを決意し、宣言します。

2017年7月9日

JMITU第4回定期大会

「JMITU」(メールニュース版)は、毎月25日付での発行です。通常号とともに職場のたたかいや経験を、随時発信していきます。支部執行委員はじめ、職場のみなさんに届けてください。